

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：相模原さくら保育園	種別：地域型保育事業(居宅訪問型保育事業除く)	
代表者氏名：下津 浩春	定員(利用人数)：19名	
所在地：〒252-0231 相模原市中央区相模原3-3-18ケーエヌマンション相模原第1-2F		
TEL：042-786-5127	ホームページ： http://sakura-hoikuen.sakura.ne.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1997年10月25日		
経営法人・設置主体(法人名等)：有限会社キッズ企画		
職員数	常勤職員：4名	非常勤職員：9名
専門職員	(専門職の名称)：名	
	保育士：9名	看護師：1名
	栄養士：1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室(0・1歳児)1室	給食室
	保育室(2歳児以上)1室	調乳室
		沐浴室
		医務室・事務室

③理念・基本方針

<理念>

一人ひとりの子どもを大切に、利用される方や地域に信用される園を目指す。

<基本方針>

一人ひとりの個性を大切に、家庭的な温かさが溢れる環境の中、伸び伸びと人間性豊かに育てる。

<保育目標>

- 心身共に健康で丈夫な子
- 明るく思いやりのある子
- 自分で考え行動できる(しようとする)子

④施設・事業所の特徴的な取組

<相模原さくら保育園の特徴的な取り組み>

- 家庭の雰囲気に近い空間をつくり、子どもにとってより良い安心感を得られるようにし、恵まれた人間関係を形成できるように心がける。
- 子どものやりたい事を実現できるように丁寧に環境を整え、日々心に残る体験を行えるように努力している。
- 子どもが“幸せ”を感じることができ、毎日を自分らしく過ごすことで、人間力を鍛えられるように関わっている。

- 女性が働きやすいように産休明けの職場復帰や、休職後の勤務時間等、臨機応変に対応できるようにしている。
- 外部研修から保育の情報や安全、衛生管理など常に新しい保育の場を提供できるように心がけている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月21日（契約日） ～ 2021年10月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回

⑥総評

《相模原さくら保育園の概要》

相模原さくら保育園は、有限会社キッズ企画（以下、法人という）の運営です。設立は平成9年であり、認定保育所を経て、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」の中の地域型保育事業の一環として保育ニーズの高い0～2歳児を対象にした小規模保育事業A型（定員19名）をスタートし、現保育園を運営・実施しています。小規模保育事業は、地域における多様な保育ニーズにきめ細かく柔軟に対応し、質が確保された保育を提供し、子どもの成長を支援することを目的としており、相模原さくら保育園では、第1に「子ども自身が“幸せ”を感じる」ことができ、毎日を自分らしく過ごせるよう支援し、人間力を鍛えられるような関わりに重点を置いています。また、家庭の雰囲気に近い空間作りによって、子どもたちが安心を得られるよう配慮し、豊かな人間関係を形成できるよう保育にあたっています。さらに、子どもがやりたいと思うことを実現できるよう環境を整備し、日々心に残る体験を提供できるよう努めています。

相模原さくら保育園は、JR相模原駅から徒歩数分、駅前範囲内にあるマンションの2階に位置し、2部屋分を保育室として広く活用しています。保育室の床は床暖房を設置し、殺菌装置のついたエアコンを完備し、安全・衛生的な環境に注力して保育を展開しています。地域との関係も法人代表の人脈により良好に構築され、近隣には3歳児からの受け入れ施設として保育園、幼稚園とも多数あります。相模原さくら保育園は、「子どもの尊重」、「保護者との連携」、「保育士がはたらきやすい職場環境」、「地域との信頼関係」を大切に、0歳～2歳児までの専門施設として、子どもと保育士が共に安定・安心した気持ちで居られる環境を整え、きめ細やかな保育を展開しています。

◇特に評価の高い点

1. 【子どもを尊重した保育の実施】

相模原さくら保育園の特徴は2歳児以下の子どもを少人数預かり、一人ひとりの子どもにきめ細かい保育を提供する点にあります。特に、2歳児以下の子どもにとっては特定の大人との愛着関係を育むことが重要とされる時期において、地域型保育事業認可A型の優れた制度の下、保育者が愛情を持って一人ひとりに丁寧な保育が行われています。相模原さくら保育園の保育室は、マンションの2部屋分を確保した広い空間を有し、一部屋には0歳児と保育者だけの生活空間とし、もう一つの保育室に1歳、2歳児が保育者と過ごし、加えて、他園児との交流、異年齢の交流等を経験できる場所として活用しています。相模原さくら保育園では、常に全園児を全保育者で見守る体制を敷き、全保育者との愛着関係を確立し、子ども一人ひとりを尊重した保育を実施しています。

2. 【職員が満足して働ける労働環境の整備】

相模原さくら保育園では、職員が満足して働ける労働環境の整備が大切と考え、福祉人材の確保の考え方として、基本的に先ず、従事している職員の定着率、また、定着に至

らない因子を考え、長期間継続して勤務できる職場環境の整備に重点を置いています。職員一人ひとりの家庭の事情等を理解し、産休明けの職場復帰、退職後の勤務時間等を考慮することにより、働きやすい職場体制の構築に努めています。継続的な採用を念頭に、現職の職員を大切に考え、働き甲斐のある職場作りを心がけています。職員体制については、必要最低限の職員数プラス α の要員を維持できるよう努めています。

◇改善を求められる点

1. 【地域型保育事業認可A型の認知と周知】

課題の1つとして、地域型保育事業認可A型の認知と周知が挙げられます。近年、認定こども園や1日預かりを行う幼稚園等もあり、小規模保育園の中でも「地域型保育事業認可A型」とは、その認知等、まだ周知・浸透が希薄な状況でもあります。地域型保育事業認可A型は子どもを尊重した保育であり、特に優位性がある小規模保育園として、個別的保育の選択、認知度が上がることを期待されます。例えば、区役所や子ども文化センター等を活用し、地域の小規模保育事業者の会合等で検討を図り、地域型保育事業認可A型の説明を行う機会を設ける等、また、内部で的確に説明が出来る人材を育成していく等、契機となる活動を模索しながら努力を続けていかれることを期待いたしております。

2. 【園児募集上の改善】

課題の2つ目としては、園児募集及び3歳時点での進路について挙げられます。前項での周知と共に、3歳児になった時の進路における保護者の不安についても、理解と認識が図られていない点にあると思われれます。相模原さくら保育園では、3歳児の進路について連携園が数園あり、周知を図る特に優位な点です。2歳児以下の乳児時代は少人数で愛着関係を十分享受して過ごし、3歳以上児になったら団体生活を人数の多い園で経験する等、子どもの育みにおいて将来の可能性と共に、選択肢が得られることは保護者にとっても大きなメリットとなります。また、幼稚園への選択や、子どもの成長過程、家庭の事情に即した選択肢も得られます。是非、園児募集の際には新しい子育ての幅広い制度について周知し、的確に説明が出来る人材を増やし、知名度を上げていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 : 有限会社キッズ企画 相模原さくら保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回の受審を通して、私たちの事業全体を振り返るための良い機会となりました。優れていた点や、改善が必要と思われる点等の見直しを行っていく中で、時代に合った保育の移り変わりを感じ、子どもや家庭と共に進歩しながら歩んで行く、保育という仕事の素晴らしさを改めて実感しました。

今後も、時代のニーズに合った事業全般の質の向上を図り、皆さまのご理解ご協力を賜りながら笑顔の絶えない保育園づくりへの取り組みを行って参ります。

<評価後取り組んだ事として>

1. ワークライフバランスに配慮した取り組み
2. 保護者、地域住民との信頼関係の構築
3. 公開保育・イベント等、地域の方が参加できる保育の充実

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり